

なるほど油防除資機材！！

～その5 長尺型油吸着マットでひと工夫～

油吸着材と聞くとまず頭に浮かぶのは座布団のような形をしたシート型油吸着マットではないでしょうか？しかし、シート型は風の影響を受け狙った場所に命中しにくく回収も困難です。また、油吸着後のシート型は海面の油と同じ色になり、回収できずテトラポッドの中に入り込んだり、流されてのり柵等の漁場に入れば二次汚染源となってしまいます。



油吸着材と聞くと、まず頭に浮かぶのはシート型油吸着マット？



風に飛ばされるシート型
狙った場所に命中しにくい・・・



散乱するシート型
油と見分けが付かなくなったシート型
回収困難・・・

そこで、便利なのが長尺型油吸着マット（ロール型油吸着マットとも言う）です。長尺型油吸着マットの端末を縛ったロープを保持し、もう一方を他の作業員が持って展張すれば、油吸着マットでの油吸着と油吸着マットの回収が一度にできます。また、カッターで切ったり、端と端を結んだりすれば最適な長さの油吸着マットを作ることができます（6.5mロール型の連結は2個までなら可能です）。



とても便利な長尺型（ロール型）油吸着マット



長尺型油吸着マットの端を縛ったり、カッターで切断すれば必要な長さの油吸着マットを作ることが可能



陸上および船上の作業員が長尺型油吸着マットの両端を持って海に展張

もっと手軽に使用する場合には長尺型油吸着マットを1.5mくらいの長さに切り、その一端にロープを縛っておき、このロープの端を持ったまま岸壁等の上から海面に投げれば、油の吸着と吸着後の油吸着マットの回収が簡単にできます。岸壁等から届くような区域に浮流している少量の油の回収にはこの方法で対応してはいかがでしょうか。



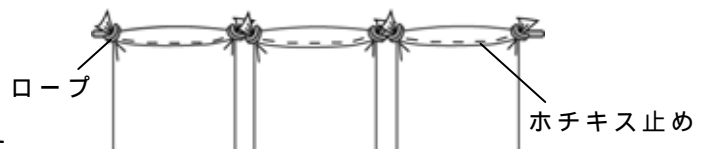
1.5mくらいの長さに切った油吸着マットをロープで縛ったもので油を吸着

油を吸着したマットは陸上のタンクに回収しましょう。
岸壁が汚れないようにビニールシートを敷くのを忘れなく！

一般にシート型油吸着マットが普及していますが、海面での使用にあたっては長尺型油吸着マットやオイルフェンスで囲んだ中でのみ使用し、必ず全量を回収することが重要です。全量回収が困難な場合は海面での使用を避けるかロープをつないで万国旗型にする方法があります。ただし、万国旗型は風で個々のシート型がバラバラになり、ここから油が漏れるおそれがあります。



水面に散乱したシート型を長尺型で包囲し引き寄せました。



シート型の両端(みみ)をロープで縛り中央部を折り返してホチキスで止めて万国旗型を作ります。

以上のように油吸着マットを海面で使用する場合には長尺型(ロール型)が便利であり、色々な工夫ができることを覚えておけば油防除作業の効率アップは間違いなしです。